

## 前回の懇談会でいただいた意見の概要

### 《持続可能な行財政運営プラン（原案）》

#### <全体的事項>

- ・具体的に取り組む内容が記載されていて、全体的に分かりやすい印象を受けた。
- ・プランは積極的にPRして、ぜひ不退転の決意で確実に取り組んでもらいたい。
- ・取組ごとにPDCAサイクルを回して、確実に実施してもらいたい。
- ・行程表では、検討から実施を5年間かけて行う取組も多いが、早期に検討結果が出るものもあると考えられるので、スケジュールをより具体的に記載していただきたい。
- ・プラン策定の経過については、有識者懇談会と市議会の意見を取り入れた実績だけでなく、広報や市民への意見聴取、市内部の検討経過も分かるようにしてはどうか。
- ・今後、官民で重要な社会的テーマとなる「脱炭素社会」についても、行財政運営の視点あるいは未来への投資の項目に加えてはどうか。
- ・「改善効果見込み額」については、一時的な収入（未利用地の売却等の収入）を含めないなどの、算定の定義を明確にしてほしい。「改善効果見込み額」はプランの柱ごとに合計で記載されているが、行程表で取組ごとの効果見込み額を整理する必要があるのではないか。

#### <個別事項>

- ・下水道使用料の段階的改定や水道料金の改定については、市民生活に与える影響が大きいため、市民の理解が得られるよう、今後丁寧に説明して行ってほしい。
  - ・保育園の民営化については、民間は経営難に陥ると撤退もあり得ることを不安視する保護者もいると思うので、民営化後も市が一定の責任をもつ旨の記述をした方がよいのではないか。
  - ・人材育成については、どういう人材をどうやって育成したいのか、対象世代や目標を明確にしていきたい。
  - ・人材育成と未来への投資の「投資効果」の記述は、前向きな効果を市民がイメージしやすいよう工夫が必要。
- ・次回は3月25日（木）午後3時から開催することが確認された。